



MIXING STEREO AMPLIFIER **SRA-5050A**

取扱説明書

目次

主な特長	2
同梱物の確認	2
安全上のご注意	3
使用上のご注意	5
各部の名称とはたらき	6
フロント・パネル	6
リア・パネル	7
設置について—放熱に対するご注意	8
機器を接続する	9
電源を準備する	10
電源コードを接続する	10
電源を入れる／切る	10
資料	11
保護回路について	11
故障かな?と思ったら	11
ブロック・ダイアグラム	12
主な仕様	14
外形寸法図	15
SPEAKER OUT CONTROL 端子	15

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」(P.3)と「使用上のご注意」(P.5)をよくお読みください。
お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

主な特長

- ハーフ・ラック・サイズで 50W × 2 の高出力を実現しています (ステレオ 4 Ω負荷時)。
- 低消費電力、低発熱設計のデジタル・アンプを採用、自然空冷方式で優れた耐久性、静粛性を実現しています。
- 別売のラック・マウント・アダプター (RAD-100A) をお使いいただくことでラック・マウントも可能です。
- 電源に大型トroidal・トランスを採用。音質を迫及した設計です。
- 入力端子はリア・パネルの RCA ピン・タイプに加えて、フロント・パネルにコンボ・タイプのマイク入力端子、ステレオ・ミニ・タイプのライン入力端子を装備しています。
- 3 系統のミキシングが可能です。
- 各入力チャンネルには、ピーク/シグナルのインジケーターを装備しています。
- ミキシング量のモニターなどに便利なヘッドホン端子も装備しています。

同梱物の確認

本機には、以下の物が同梱されています。すべてそろっているか確認してください。
同梱物に不足があった場合は、お買い上げ店までご連絡ください。

本体



電源コード (2P-3P 変換器付き)



取扱説明書



ゴム足 (4 個)



安全上のご注意

マークについて

本機に表示されているマークには、次のような意味があります。

	注意 感電の恐れがあります。 キャビネットをあけないでください。	
注意：感電防止のため、パネルやカバーをはずさないでください。本機の内部には、お客様が修理／交換できる部品はありません。修理は、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに依頼してください。		



このマークは、本機の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。



このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

火災・感電・傷害を防止するには

⚠ 警告と ⚠ 注意の意味について

 警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
 注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表しています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表しています。具体的な注意内容は、△の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を表しています。具体的な禁止内容は、⊘の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表しています。
	●は、強制（必ずすること）を表しています。具体的な強制内容は、●の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

----- 以下の指示を必ず守ってください -----

⚠ 警告

完全に電源を切るときは、コンセントからプラグを抜く

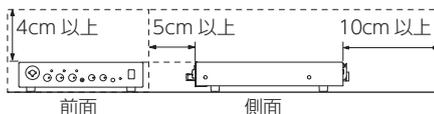
電源スイッチを切っても、本機は主電源から完全に遮断されてはいません。完全に電源を切る必要があるときは、本機の電源スイッチを切ったあと、コンセントからプラグを抜いてください。そのため、電源コードのプラグを差し込むコンセントは、本機にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。



スペースを確保して設置する

本機は発熱するため、下記のスペースを確保して使用してください。

本機を机や棚などに据え置きして使用するときは、放熱のため必ず、ゴム足（付属品）を取り付け、通気性の良い場所に設置してください。



分解や改造をしない

取扱説明書に書かれていないことはしないでください。故障の原因になります。



⚠ 警告

個人で修理や部品交換はしない

必ずお買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。



次のような場所で使用や保管はしない

- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- 湯気や油煙が当たる場所
- 塩害の恐れがある場所
- 雨に濡れる場所
- ほこりや砂ぼこりの多い場所
- 振動や揺れの多い場所
- 風通しの悪い場所



指定のラック・マウント・アダプターを使用する

本機をラックにマウントする場合は、ローランドが推奨するラック・マウント・アダプター（別売：RAD-100A）を使用してください（P.8）。



電源プラグは AC100V の電源コンセントに差し込む

電源プラグは、必ず交流（AC）100V の電源コンセントに差し込んでください。



⚠ 警告

付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。



電源コードを傷つけない

火災や感電の原因になります。



大音量で長時間使用しない

大音量で長時間使用すると、難聴になる恐れがあります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。



異物や液体を入れない、液体の入った容器を置かない

本機に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。また、この機器の上に液体の入った容器（花瓶など）を置かないでください。ショートや誤動作など、故障の原因となることがあります。



警告

異常や故障が生じたときは電源を切る

次のような場合は、直ちに電源を切って電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに修理を依頼してください。



- ・電源コードが破損したとき
- ・煙が出たり、異臭がしたりしたとき
- ・異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- ・機器が（雨などで）濡れたとき
- ・機器に異常や故障が生じたとき

お子様がけがをしないように注意する

お子様のいる場所で使用する場合やお子様を使用する場合、必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。



落としたり、強い衝撃を与えたりしない

破損や故障の原因になります。



タコ足配線はしない

発熱、発火する恐れがあります。



海外でそのまま使用しない

海外で使用する場合は、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。



電源コードのアースを確実に取り付ける

電源コードのアースを確実に取り付けてください。感電の恐れがあります (P.10)。



注意

電源コードはプラグを持って抜く

断線を防ぐため、電源コードを機器本体やコンセントから抜くときは、必ずプラグを持ってください。



電源プラグを定期的に掃除する

電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりがたまると、火災や感電の原因になります。



定期的に電源プラグを抜き、乾いた布でゴミやほこりを拭き取ってください。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

万一故障したとき、火災の原因になります。



電源コードやケーブルは煩雑にならないように配線する

足に引っかけると、本機の落下や転倒などにより、けがの原因になることがあります。



上に乗ったり、重いものを置いたりしない

転倒や落下によって、けがをする恐れがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。



動作中に SPEAKERS 端子に触れない

感電する恐れがありますので、動作中は SPEAKERS 端子に触れないでください。



移動するときはすべての接続をはずす

本機を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、外部機器との接続をはずしてください。



お手入れするときは電源プラグをコンセントから抜く

コンセントから抜いておかないと感電の原因になります。



落雷の恐れがあるときは電源プラグをコンセントから抜く

コンセントから抜いておかないと故障や感電の原因になります。



小さな部品はお子様の手が届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪く飲んで飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。



- ・付属品
ゴム足 (P.8)

注意

接地端子の取り扱いに注意する

接地端子ネジは、お子様が誤って飲み込んだりすることのないよう取りはずした状態で放置しないでください。再度ネジを取り付ける際は、ゆるみはすれないように確実に取り付けてください。



やけどしないように注意する

本体ケースは高温になりますので、やけどしないよう注意してください。



使用上のご注意

電源について

- 本機を、インバーター制御の製品やモーターを使った電気製品（冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコンなど）と同じコンセントに接続しないでください。電気製品の使用状況によっては、電源ノイズで本機が誤動作したり、雑音が発生したりすることがあります。電源コンセントを分けることが難しい場合は、電源ノイズ・フィルターを取り付けてください。

設置について

- 本機の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えてください。
- 本機をテレビやラジオの近くで動作させると、テレビ画面に色ムラが出たりラジオから雑音が出たりすることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 本機の近くで携帯電話などの無線機器を使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、無線機器を本機から遠ざけるか、電源を切ってください。
- 極端に温湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴が付く（結露する）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になります。数時間放置して、結露がなくなってから使用してください。
- 設置条件（設置面の材質、温度など）によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。
- 本機の上に液体の入った容器などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、速やかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

お手入れについて

- 変色や変形の原因となる、ベンジン、シンナー、アルコール類は使用しないでください。

修理について

- お客様が本機または付属品を分解（取扱説明書に指示がある場合を除く）、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合もあります。
- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

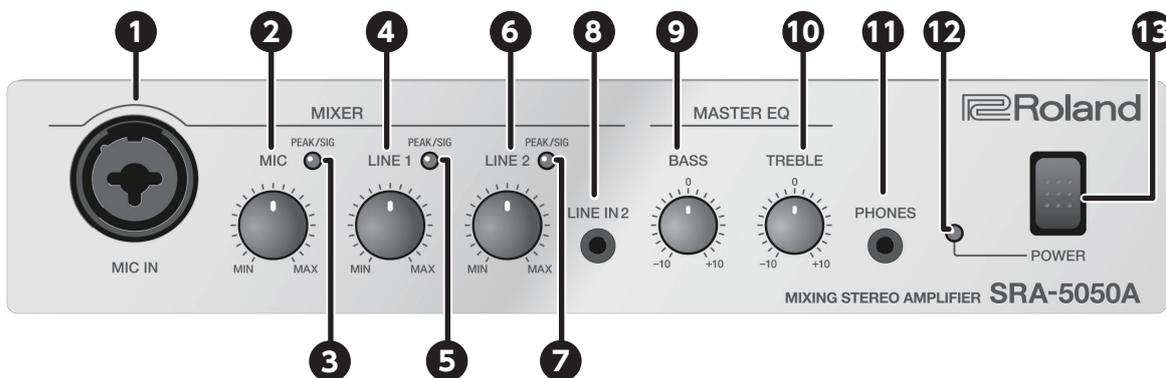
- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ケーブルを抜くときは、ショートや断線を防ぐため、プラグ部分を持って引き抜いてください。
- 本機は発熱することがありますが、故障ではありません。
- 周囲に迷惑がかからないように、音量に十分注意してください。
- 本機が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄するときは、各地域のゴミの分別基準に従ってください。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

知的財産権について

- Roland は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

各部の名称とはたらき

フロント・パネル



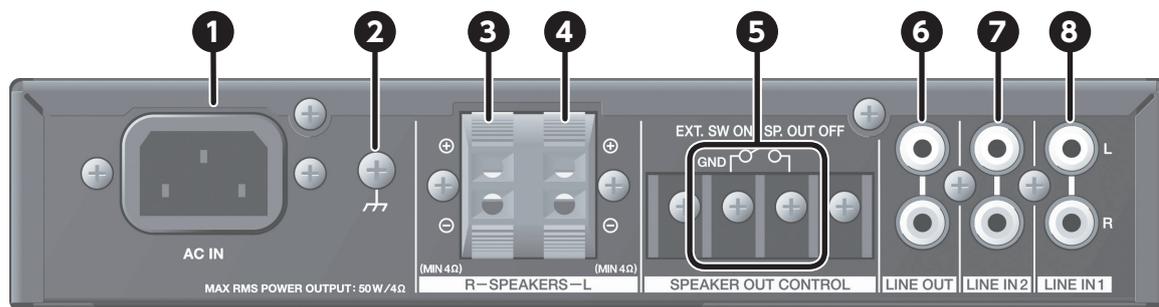
番号	名称	説明
1	MIC IN 端子 (XLR-3-31 タイプ / TRS 標準タイプ、 バランス入力、アンバランス入力対応可)	マイクを接続する端子です。
2	[MIC] 音量つまみ	マイク入力端子に接続したマイクの音量を調整します。
3	PEAK/SIG インジケータ	マイク入力端子に信号が入力されると、緑 (SIG) が点灯します。信号レベルが大きすぎるときは、赤 (PEAK) が点灯します。
4	[LINE 1] 音量つまみ	LINE IN 1 端子に接続した機器の音量を調整します。 L/R 同時に調整されます。
5	PEAK/SIG インジケータ	LINE IN 1 端子に信号が入力されると、緑 (SIG) が点灯します。信号レベルが大きすぎるときは、赤 (PEAK) が点灯します。
6	[LINE 2] 音量つまみ	LINE IN 2 端子に接続した機器の音量を調整します。 L/R が同時に調整されます。
7	PEAK/SIG インジケータ	LINE IN 2 端子に信号が入力されると、緑 (SIG) が点灯します。信号レベルが大きすぎるときは、赤 (PEAK) が点灯します。
8	LINE IN 2 端子 L/R (ステレオ・ミニ・タイプ)	ポータブル・オーディオ・プレーヤーや CD プレーヤーなどのオーディオ機器を接続します。 ※ この端子に機器を接続すると、リア・パネルの LINE IN 2 端子に接続している機器の音声は遮断されます。
9	[BASS] つまみ	低域の音質を調整します。中央がフラットな特性です。中央より右に回すと低音が強調され、左に回すと減衰されます。
10	[TREBLE] つまみ	高域の音質を調整します。中央がフラットな特性です。中央より右に回すと高音が強調され、左に回すと減衰されます。
11	PHONES 端子 (ステレオ・ミニ・タイプ)	ヘッドホン (別売: RH-300 など) を接続する端子です。ミキシング量などをモニターできます。 ※ ヘッドホンを接続すると、SPEAKERS 端子から音は出ません。 ※ ヘッドホンを抜いてからしばらくは、SPEAKERS 端子から音は出ません。
12	POWER インジケータ	電源がオンになると点灯します。
13	[POWER] ボタン	電源をオン/オフします (P.10)。[POWER] ボタンを押し込むと電源がオンになり、POWER インジケータが点灯します。

PEAK/SIG インジケータ点灯レベルの目安 (各音量つまみ最大の場合)

緑 (SIG)	規定入力レベルより約 30dB 小さい信号が入力されると点灯します。
赤 (PEAK)	規定入力レベル以上の信号が入力されると点灯します。

※ 赤 (PEAK) が点灯するときは、入力信号レベルが大きすぎるので、各音量つまみ (MIC / LINE1 / LINE2) で音量を下げてください。
 ※ 赤 (PEAK) が点灯していなくても、他のチャンネルに信号が入力されたときや、[BASS] や [TREBLE] つまみを上げたときに、出力が歪むことがあります。

リア・パネル



番号	名称	説明
1	AC IN 端子	付属の電源コードを接続します。 ※ 電源の消費電力の仕様は、「主な仕様」(P.14) をご参照ください。 ※ 電源プラグは、必ず銘板に記載の仕様を満たしている電源コンセントに差し込んでください。銘板は、製品本体の側面にあります。設置の状態により銘板が確認しづらい場合は、「主な仕様」(P.14) をご参照ください。
2	接地端子	「接地端子について」(P.9) をお読みください。
3	SPEAKERS 端子 R	スピーカー・システムを接続します。
4	SPEAKERS 端子 L	※ 合成インピーダンスが 4 Ω以上のスピーカー・システムを使用してください。
5	SPEAKER OUT CONTROL 端子 (ネジ端子)	スピーカー出力のオン/オフを制御します。この端子を外部の無電圧メイク接点でショートさせると、スピーカー出力の音声が遮断されます。 詳しくは、「SPEAKER OUT CONTROL 端子」(P.15) をお読みください。 ご注意! <ul style="list-style-type: none"> 故障の原因となりますので、外部から電圧を加えないでください。 両端の端子は、使用しないでください。
6	LINE OUT 端子 L/R (RCA ピン・タイプ)	他のパワーアンプや録音機器、放送設備などへ信号を送ります。ミキシング後の信号を出力します。 ※ ベース/トレブルの調整は、無効となります。
7	LINE IN 2 端子 L/R (RCA ピン・タイプ)	ローランド AR シリーズや CD プレーヤーなどのオーディオ機器を接続します。
8	LINE IN 1 端子 L/R (RCA ピン・タイプ)	ローランド AR シリーズや CD プレーヤーなどのオーディオ機器を接続します。

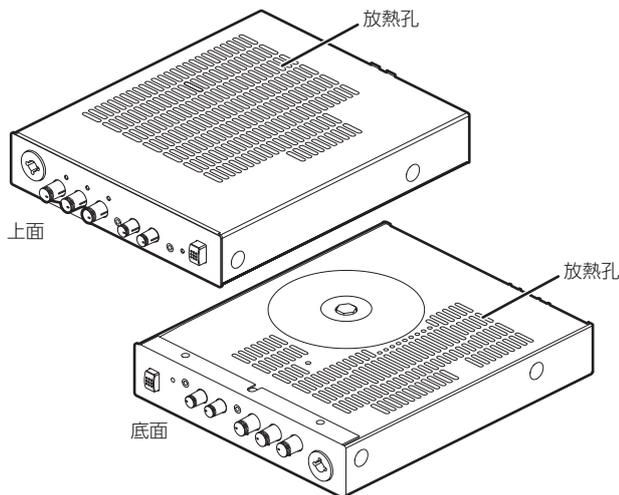
設置について—放熱に対するご注意

本機は動作時に発熱しますので、放熱のために以下の設置方法を必ずお守りください。

※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。

放熱孔の掃除

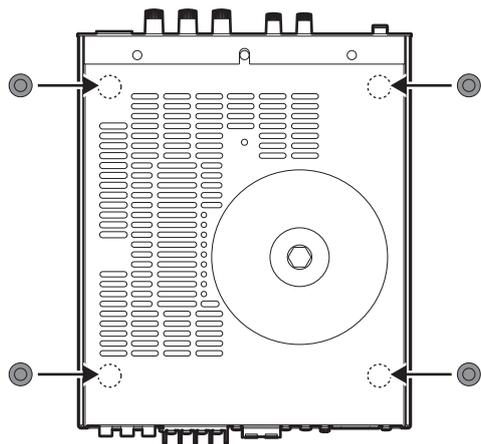
本機の上面および底面には放熱のための孔があります。長期間使用するとゴミやほこりにより孔がふさがれることがあります。定期的に放熱孔を掃除機などで掃除してください。



本機を机や棚などに据え置きする場合

本機を机や棚などに据え置きして使用するとき、放熱のため必ず付属のゴム足（4個）を取り付け、通気性の良い場所に設置してください。

1. ゴム足の両面テープをはがし、図の位置に貼り付ける。



※ 放熱のため、以下の空間を空けてください。
本機の上部：4cm 以上
本機の正面：5cm 以上



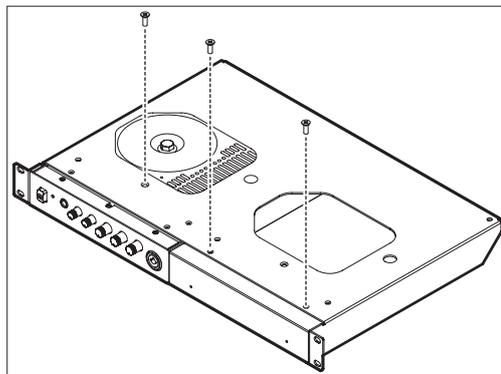
ラックに設置する場合

本機にラック・マウント・アダプター（別売：RAD-100A）を取り付けることで、EIA ラックに設置できます。1つの RAD-100A で本機を 2 台まで設置できます。

ラック・マウント時のご注意

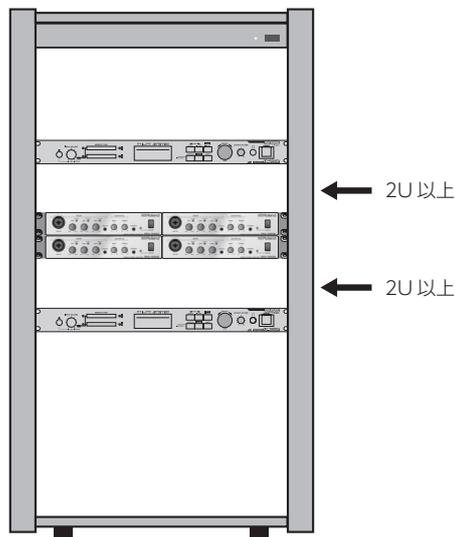
- ※ 本機は旧製品の RAD-100 やその他のラック・マウント・アダプターを使って取り付けることはできません。取り付けた場合、本機の放熱ができなくなり、故障の原因となります。
- ※ ラックに取り付けた状態で、ラックを運搬しないでください。振動の衝撃によりラック・マウント・アダプターが変形する恐れがあります。
- ※ 通気性の良い場所に設置してください。
- ※ 前面に扉のあるラックは使用しないでください。本機が冷たい外気を吸入できなくなります。
- ※ ラック後面が解放されたラックを使用してください。
- ※ ラック後面と壁との間は、10cm 以上空けてください。
- ※ ラックにセットするときは、指などをはさまないようにご注意ください。
- ※ 「使用上のご注意」の「設置について」(P.5) もあわせてお読みください。

1. ゴム足を取り付けている場合は、ゴム足ははずす。
2. RAD-100A 付属のネジで本機を RAD-100A に固定する。



3. 下図のようにラックに設置する。

段積みは 2 段までとし、2 段ごとに 2U 以上のスペースを空けてください。



機器を接続する

※ 本機では、BTL 接続はできません。ステレオ接続でお使いください。

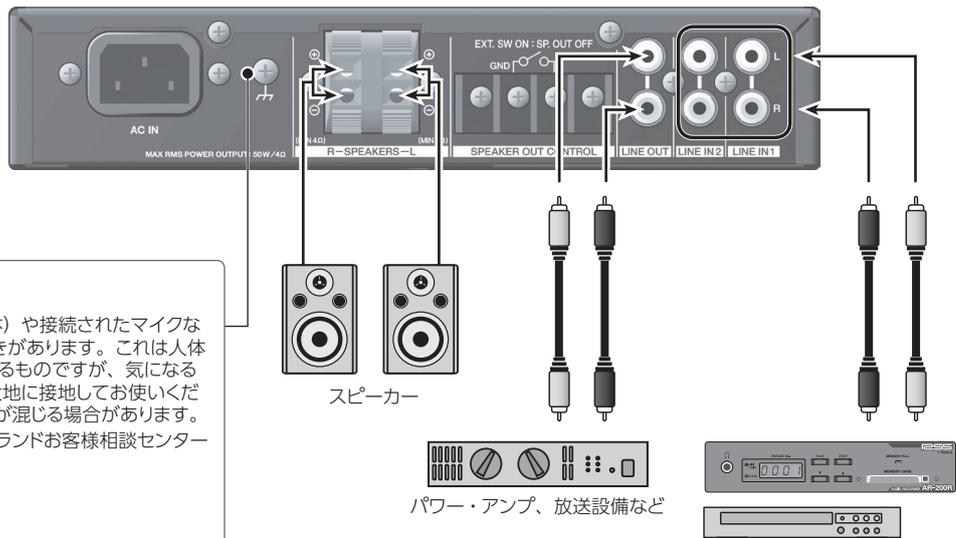
※ 他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞った状態で電源を切ってください。

※ お使いの機器のコネクター形状に合ったケーブルおよび変換プラグをご用意ください。



ご注意!

マイク・ケーブルは、[MIC] 音量つまみを絞った状態で抜き差ししてください。ポップ・ノイズによって、本機の電流制限の保護回路 (P.11) が作動することや、スピーカーにダメージを与える恐れがあります。



接地端子について

本機は、設置条件によってパネル面 (本体) や接続されたマイクなどの金属部がざらつくような感じになることがあります。これは人体にまったく害のない極めて微量の帯電によるものですが、気になるかたは接地端子を使って外部のアースか大地に接地してお使いください。このとき、わずかにハム (うなり) が混じる場合があります。なお、接続方法がわからないときは、ローランドお客様相談センターにご相談ください。

接続してはいけないところ

- 水道管 (感電の原因になります)
- ガス管 (爆発や引火の原因になります)
- 電話線のアースや避雷針 (落雷のとき危険です)

SPEAKERS 端子 L/R について

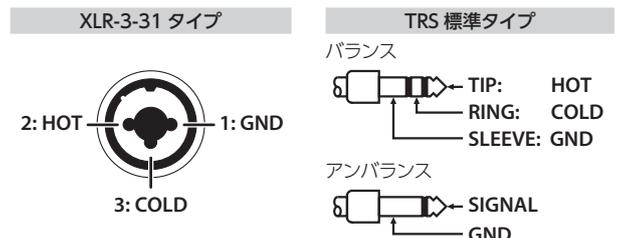


感電する恐れがありますので、動作中は SPEAKERS 端子に触れないでください。

- ※ SPEAKERS 端子には、スピーカー以外は接続しないでください。
- ※ 合成インピーダンスが 4 Ω 以上のスピーカー・システムをお使いください。
- ※ プラス (+) とマイナス (-) の極性を間違えないでください。
- ※ 保護回路 (P.11) が働くため本機が壊れることはありませんが、スピーカー・ケーブルをショートさせないようにご注意ください。
 - SPEAKERS 端子 L のマイナス (-) 端子と R のマイナス (-) 端子は別回路になっているので、ショートさせないようにください。ショートさせると R チャンネルから音が出なくなります。
 - プラス (+) とマイナス (-) がショートしないようにしてください。
 - L と R が接触しないようにしてください。

MIC IN 端子について

※ MIC IN 端子はバランス (XLR/TRS) タイプの端子で、次のように配線されています。接続する機器の配線をご確認のうえ、接続してください。



その他の端子について

※ LINE IN1 / LINE IN2 / LINE OUT / SPEAKERS 端子はステレオです。L と R を間違えないように接続してください。

電源を準備する

電源コードを接続する



感電を防ぐために付属の電源コードを使用し、アースを確実に取り付けてください。

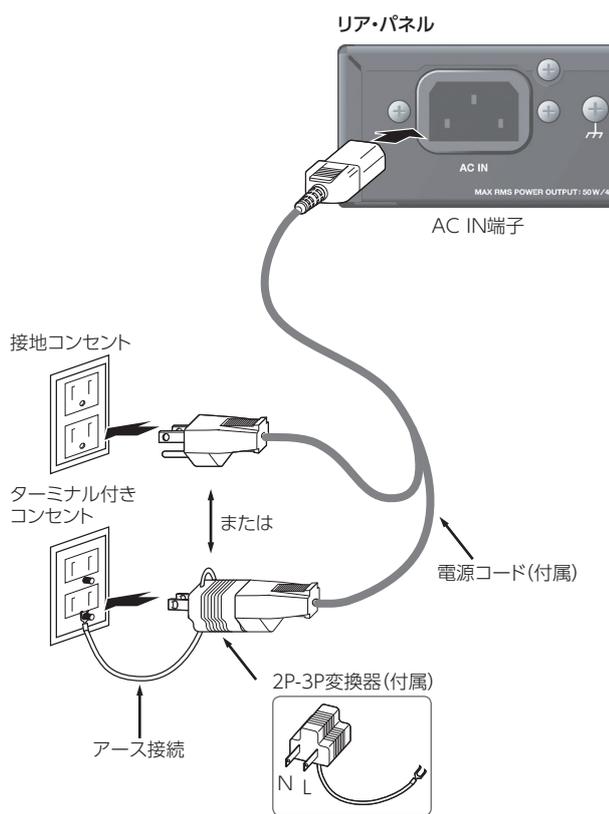
1. 付属の電源コードをリア・パネルの AC IN 端子に接続する。

付属の電源コードには、感電と機器の損傷を防ぐためにアース用電極端子を加えた 3 端子のプラグがついています。

- コンセントが接地コンセント(端子穴が3個)の場合
そのままコンセントにプラグを差し込みます。
- コンセントがアースターミナル付きコンセント(端子穴が2個)の場合
プラグに2P-3P変換器を付け、アース接続をしてから、コンセントに差し込みます。

ご注意!

- アースは必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に接続してください。
- アースは必ず、電源プラグをコンセントから抜いてからはずしてください。



※ コンセントにアース端子がない場合は、電気工事店に接地工事を依頼してください。

電源を入れる／切る

正しく接続したら、必ず次の手順で電源を投入してください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカーなどが破損したりする恐れがあります。

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

電源を入れる

1. すべての機器の電源がオフになっていることを確認する。
2. 接続している機器の電源を入れる。
3. 本機のフロント・パネルにある [POWER] ボタンを押して、電源を入れる。



※ 本機は回路保護のため、電源をオンしてからしばらくは動作しません。

電源を切る

1. 本機のフロント・パネルにある [POWER] ボタンを押して、電源を切る。
2. 接続している機器の電源を切る。

※ 完全に電源を切る必要があるときは、本機の電源スイッチを切ったあと、コンセントからプラグを抜いてください。詳しくは「完全に電源を切るときは、コンセントからプラグを抜く」(P.3)をお読みください。

保護回路について

本機には、接続しているスピーカーや本機を守るための保護回路が装備されています。

保護回路	保護対象	動作	表示	お客様の対策
ミュートイング	電源オン/オフ時のショック・ノイズからスピーカーを保護します。	電源をオンにしてから、数秒間出力をカットします。 電源オフ時にただちに出力をカットします。	—	—
DC 検出保護	スピーカーを保護します。	出力に± 4V 以上の DC が発生すると出力をカットします。 DC がなくなると自動復帰します。	—	復帰しない場合は、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターにご相談ください。
温度保護	本機が異常に発熱した場合に、アンプ部または電源トランスを保護します。	アンプ部 温度が異常上昇すると、スピーカー出力信号を制限します。さらに温度が上昇すると出力をカットします。	—	<ul style="list-style-type: none"> 電源を切り、本機の周りの通風状態を確認してください。 過大な信号を入力していないか確認してください。 4 Ω 以上のスピーカーを接続してください。 確認後、本機が十分に冷えてから電源を入れ直してください。
		電源トランス 温度ヒューズを遮断します。	本機の電源が切れ、電源インジケータが消灯します。	お買い上げ店またはローランドお客様相談センターにご相談ください。
電流制限	本機のアンプ部を保護します。	出力ショートや 4 Ω 未満のスピーカーが接続された状態で入力信号が入ったときに、スピーカー出力信号を制限します。	—	<ul style="list-style-type: none"> スピーカー・ケーブルのショートをなくしてください。 過大な信号を入力していないか確認してください。 4 Ω 以上のスピーカーを接続してください。 確認後、電源を入れ直してください。

※ 接続状況や設置状況に問題がないにもかかわらず正常に動作しない場合は、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

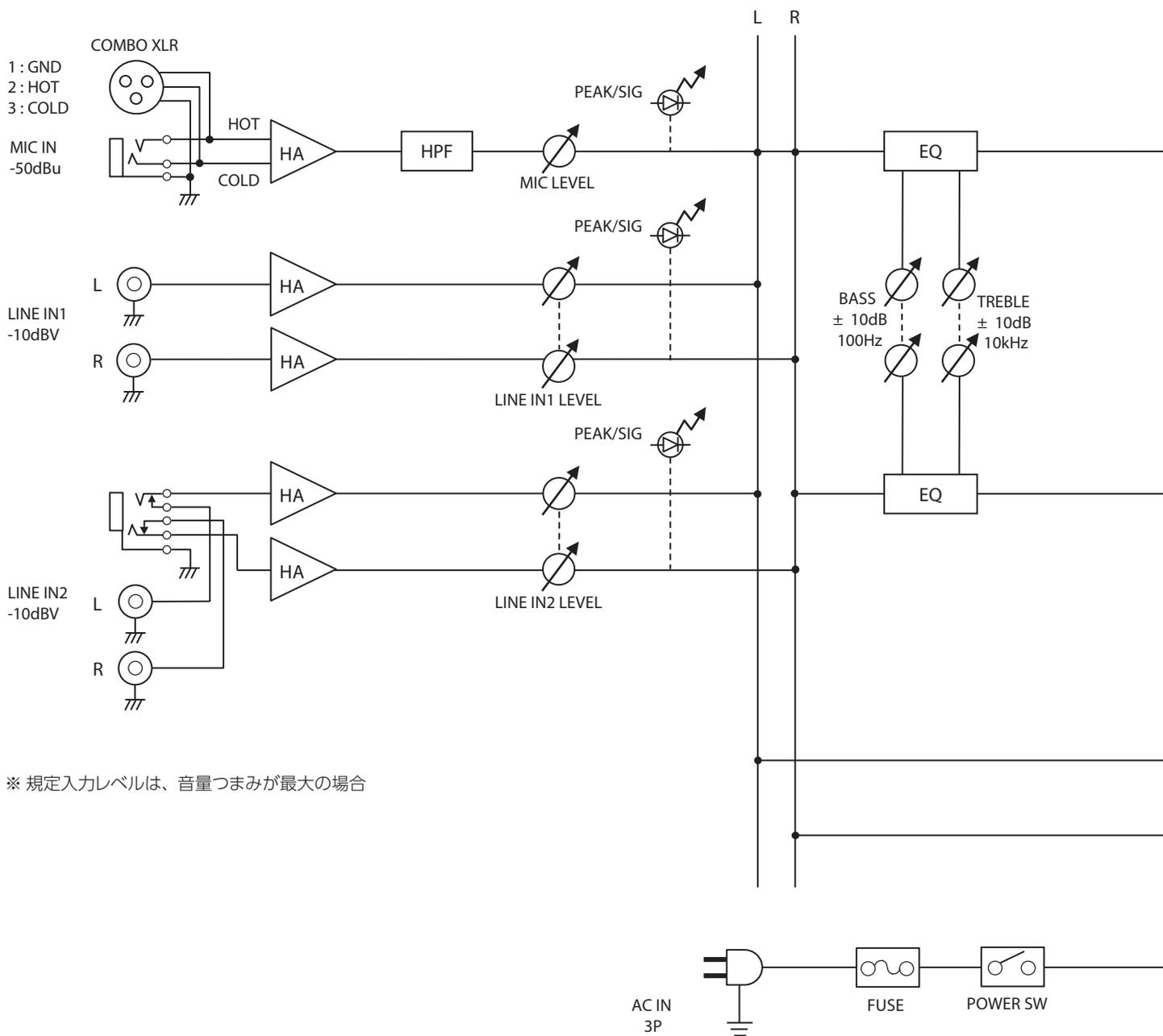
故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、お問い合わせになる前にもう一度、以下の点をチェックしてみてください。

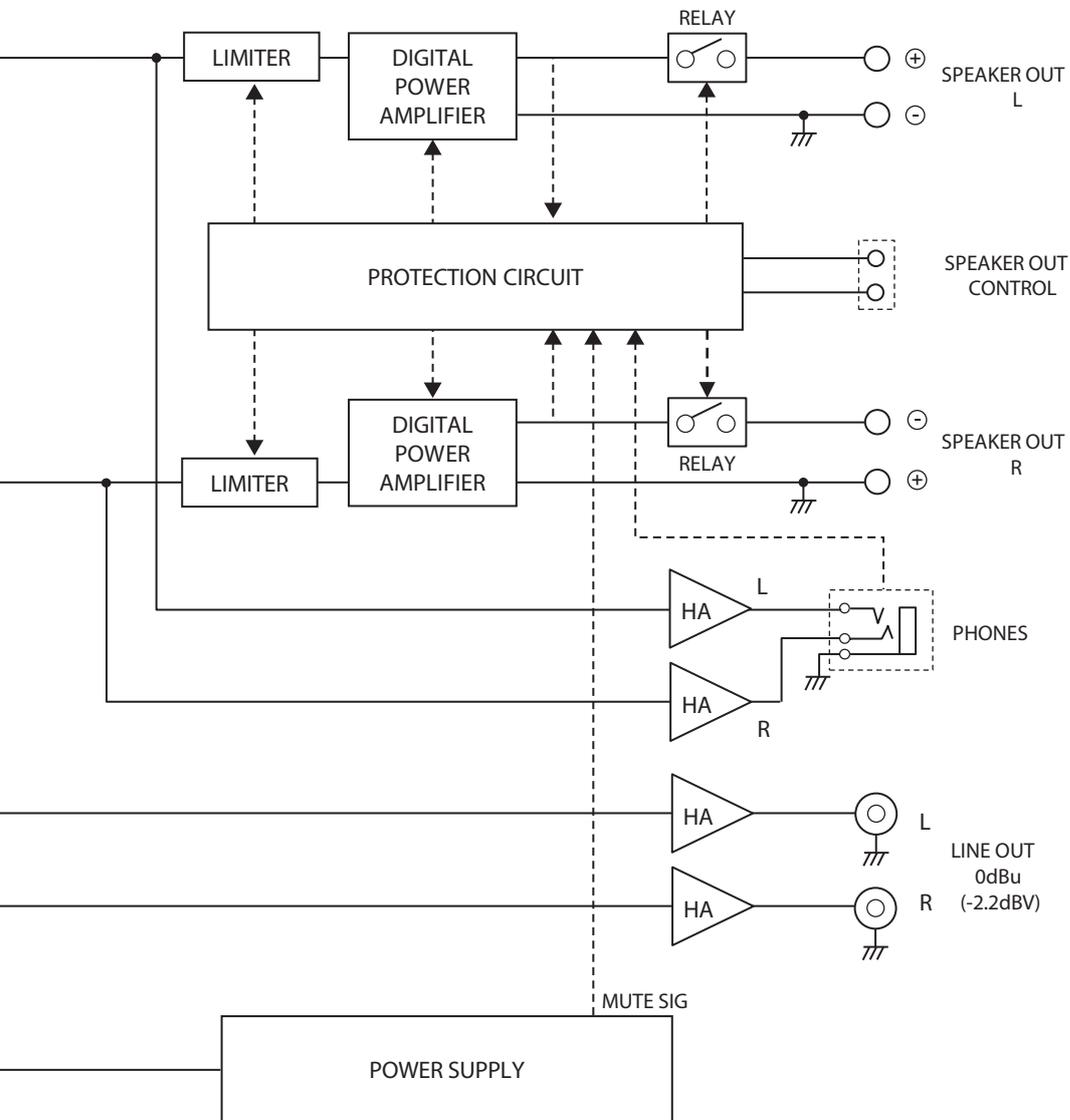
チェックしても問題が解決しない場合は、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにお問い合わせください。

症状	確認
音が出ない	電源コードの接続状況を確認してください。
	接続ケーブルが断線や接触不良になっていないか確認してください。
	音量つまみを左に回しすぎた状態になっていないか確認してください。
	接続した機器の設定を確認してください。
入力端子に接続した機器の音量が小さい	保護回路が作動していないか確認してください。詳しくは、このページの「保護回路について」をお読みください。
	抵抗入りの接続ケーブルを使用していないか確認してください。 ⇒ 抵抗の入っていない接続ケーブル（ローランド：PCS シリーズなど）を使用してください。
音の定位がおかしい（低音が極端に小さい、左右に極端に広がって聴こえる）	スピーカー・ケーブルの極性が逆になっていないか確認してください。

ブロック・ダイアグラム



※ 規定入力レベルは、音量つまみが最大の場合



主な仕様

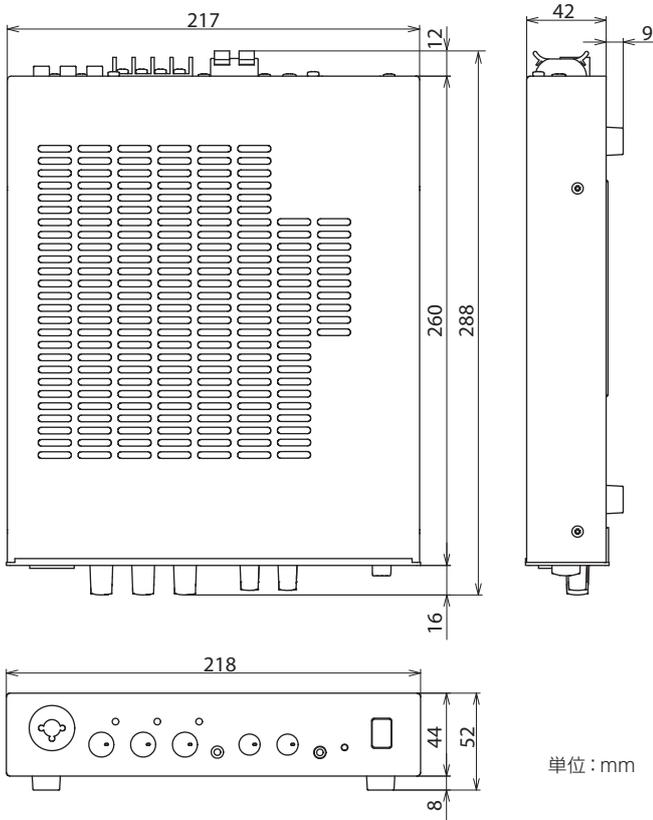
ローランド SRA-5050A : ミキシング・ステレオ・アンプリファイアー

定格出力	35W × 2 (8 Ω負荷、1kHz) 50W × 2 (4 Ω負荷、1kHz)	
周波数特性	10Hz ~ 20kHz (+1/-1dB、1W/8 Ω)	
入力インピーダンス	MIC IN	2k Ω (アンバランス時)、1k Ω (バランス時)
	LINE IN 1	9k Ω
	LINE IN 2	9k Ω
入力感度	MIC IN	-50dBu
	LINE IN 1	-10dBV
	LINE IN 2	-10dBV
最大許容入力	MIC IN	-4dBu
	LINE IN 1	+10dBV
	LINE IN 2	+10dBV
推奨負荷インピーダンス	スピーカー	4 Ω以上
	ヘッドホン	40 Ω以上
全高調波歪率	0.1% (ステレオ 8 Ω負荷、1kHz、17.5W、typ.)	
残留ノイズ	-65dB (スピーカー出力、全入力 150 Ωターミネート、全つまみ最小、IHF-A、typ.)	
チャンネル・セパレーション	70dB (8 Ω負荷、1kHz、25W、DIN audio、typ.)	
コントロール	[MIC] 音量つまみ、[LINE 1] 音量つまみ、[LINE 2] 音量つまみ、[TREBLE] つまみ、[BASS] つまみ、[POWER] ボタン	
インジケータ	POWER インジケータ、PEAK/SIG インジケータ×3 (MIC、LINE 1、LINE 2)	
接続端子	フロント	MIC IN 端子 (コンボ・タイプ (XLR、TRS 標準)) LINE IN 2 端子 (L、R) (ステレオ・ミニ・タイプ) PHONES 端子 (ステレオ・ミニ・タイプ)
	リア	LINE IN 1 端子 (L、R) (RCA ピン・タイプ) LINE IN 2 端子 (L、R) (RCA ピン・タイプ) LINE OUT 端子 (L、R) (RCA ピン・タイプ) SPEAKERS 端子 (L、R) SPEAKER OUT CONTROL 端子 (ネジ端子)
電源	AC100V (50/60Hz)	
消費電力	30W	
外形寸法	218 (幅) × 288 (奥行) × 52 (高さ) mm (ゴム足含む)	
質量	3.5kg (電源コード含む)	
付属品	取扱説明書 (保証書含む)、電源コード (2P-3P 変換器付き)、ゴム足×4	
別売品	ラック・マウント・アダプター RAD-100A	

※ 0dBu = 0.775Vrms、0dBV = 1Vrms

※ 製品の仕様や外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

外形寸法図



SPEAKER OUT CONTROL 端子



端子仕様

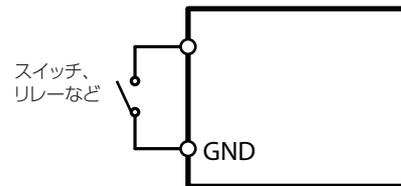
出力電圧	5.15V (±0.5V)
動作仕様	外部スイッチをオンにすると、スピーカー出力がオフされます。

ご注意!

SPEAKER OUT CONTROL 端子に、外部から電圧を加えないでください。故障の原因となります。

接続例

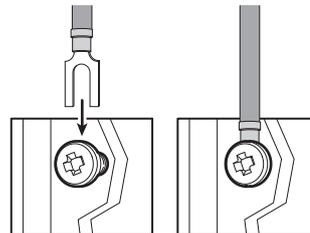
無電圧メイク接点



ケーブルの接続

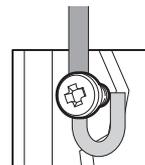
Y型プラグの場合

端子ネジをゆるめます。Y型プラグを差し込み、端子ネジを締め付けて固定します。



芯線を巻き付ける場合

芯線を端子ネジに巻き付け、端子ネジを締め付けて固定します。

**ご注意!**

芯線がシャーシに当たらないようにご注意ください。

お問い合わせの窓口

- 製品に関するお問い合わせ先

ローランドお客様相談センター **050-3101-2555**

電話受付時間： 月曜日～金曜日 10:00～17:00（弊社規定の休日を除く）

※IP電話からおかけになって繋がらない場合には、お手数ですが、電話番号の前に“0000”
（ゼロ4回）をつけてNTTの一般回線からおかけいただくか、携帯電話をご利用ください。

※上記窓口の名称、電話番号等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

- 最新サポート情報

製品情報、イベント／キャンペーン情報、サポートに関する情報など

ローランド・ホームページ <http://www.roland.co.jp/>

ボス・ホームページ <http://jp.boss.info/>

'16. 04. 01 現在 (Roland)
